



平成 18 年 5 月 12 日

各 位

会社名 株式会社メガネトップ
代表者名 代表取締役社長 富澤昌三
(コード番号 7541 東証第一部)
問合せ先 取締役管理本部長 高柳正雄
(TEL. 054-275-5000)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の動向を踏まえ、平成 18 年 2 月 21 日に公表した平成 18 年 3 月期（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）の業績予想の修正について下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 業績予想の修正

1. 平成 18 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	31,500	△20	△1,080
今回修正予想 (B)	31,941	479	△1,015
増減額 (B - A)	441	499	65
増減率 (%)	1.4	—	—

2. 平成 18 年 3 月期個別業績予想数値の修正（平成 17 年 4 月 1 日～平成 18 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	20,800	△250	△1,290
今回修正予想 (B)	21,010	78	△1,081
増減額 (B - A)	210	328	209
増減率 (%)	1.0	—	—

3. 修正の理由

売上高につきましては、メガネトップ単体では、第 4 四半期の既存店売上高前年対比が 106.7%と、第 3 四半期以上に好調に推移いたしました。これは、下期以降に取り組んだ企画の変更、リニューアル及び現場教育の再徹底が集客力の向上にさらに大きく寄与したことによるものです。また、ビジョンケア事業の販売子会社におきましても売上高を順調に伸ばさせたことから、売上高は連結、単体ともに計画を上回ることができました。

利益面につきましては、全般的にコスト低減を図り諸経費を計画内に抑制できたことから、経常利益、当期純利益ともに計画を上回りました。

なお、特別損失として見込んでいた減損損失が、連結では当初 834 百万円から 1,070 百万円に、単体では当初 741 百万円から 930 百万円に増加し、一方、子会社整理損失が、連結では当初 243 百万円から 169 百万円に、単体では 527 百万円から 438 百万円に縮小したことから、税金計算に変化が生じ、当期純利益の修正は小幅に止まりました。

以 上